

～お知らせ～

★保険会社合併のご案内

10月1日より損保ジャパンひまわり生命保険㈱と日本興亜生命保険㈱が合併しNKSJひまわり生命保険㈱に、三井住友海上きらめき生命保険㈱とあいおい生命保険㈱が合併し三井住友海上あいおい生命保険㈱になります。

※上記4社にてご契約いただいているご契約者様は、現在の保障内容等は今まで通り変更はございませんのでご安心下さい。ご不明な点がございましたらお手数ですがご連絡ください。



★ジブラルタ生命の取り扱いを始めました。

米ドル・豪ドル・ユーロなどの外貨建て保険商品が充実しています。



★セコムホームセキュリティのご相談も受け付けています。



★先日の勉強会も大変好評いただきました。

「手作りシュシュ教室」&「ママの貯金&へそくりUP！大作戦」

デザイナーかママさんをお呼びして皆さんでシュシュを手作りしたあと、店長とかわによるオトクな勉強会。なごやかな雰囲気の中、進められました。

今後も開催する予定です。(HP・メール配信にてお知らせします。)ぜひお時間のある方はご参加下さいね。

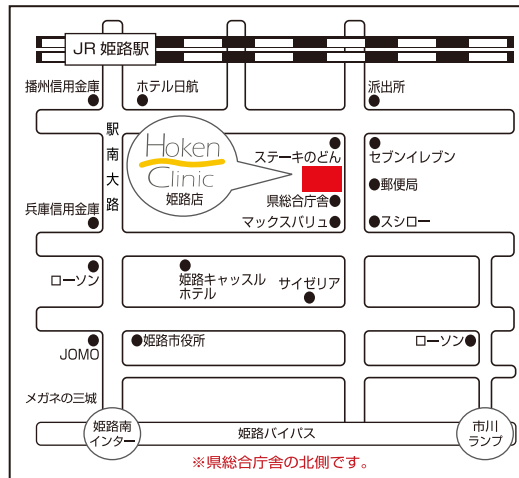


★メルアド登録いただいている方へ

【指定受信について】

1. ドメイン指定受信
携帯電話の受信設定でドメイン指定受信を設定している方は、「hoken-himeji.com」を個別に受信したいドメインに設定してください。
2. 指定アドレス受信
携帯電話の受信設定で指定アドレス受信を設定している方は、下記のメールアドレスを個別に受信したいメールアドレスに設定してください。「info@hoken-himeji.com」

取り扱い保険会社



保険 姫路 検索

0120-920-848
TEL 受付 AM 9:00 ~ PM 6:00 年中無休

株式会社トラストファイナンシャルプランニング
〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目113番地 ミヤビル1F



保険クリニック姫路店通信 Vol.2

いつもお世話になりありがとうございます。前回お送りさせていただきました創刊号いかがでしたでしょうか。

さて、Vol.2 はがん保険についてです。一昔前では、がんといえば入院をしたうえで治療を行っていました。そしてその入院費用は、医療保険の入院給付金でカバーすることができていました。しかし現在は、医療制度の変化や新薬の開発により、がんは入院をして治療するのではなく抗がん剤治療などは通院での治療だったり、最近よく耳にする先進医療や自由診療などの高額な治療になってきました。当然、その治療方法は従来の医療保険ではカバーしきれないということになります。

保険クリニックのスタッフは、がん保険商品の知識も最新の治療方法の知識も常に勉強しています。その情報をみな様にお伝えできればと思っています。ぜひご一読下さい。これからも末永いお付き合いをよろしくお願い申し上げます。



株式会社トラストファイナンシャルプランニング
代表取締役 嶋崎 庄悟

あなたにあったガン保険を

ガン保険の必要性



あなたや家族のもしものガンに備えて、
ガンの治療とお金と保険の知識を。

2人に1人はガンに罹るといわれるように、ガンは身近な病気です。ただ、2人に1人がガンで亡くなるというわけではありません。早期発見できればガンは治る病気でもあります。

なので、ショッキングなデータではありますが必要以上に不安になることはありません。気をつけないといけないのは、治療にお金がかかるケースがあるということです。



例えば、抗がん剤治療で髪の毛が抜けてしまったため、ウィッグを購入したとか、健康に気を使うようになり、自然食品やサプリメントなどを買うようになった。このような費用は当然健康保険適用ではないので全額自己負担です。

具体的な治療方法も、ガンに関しては様々なものがあります。しかし、それら全てが健康保険適用となる訳ではありません。

最近では副作用が少ないといわれる粒子線治療なども有名になってきましたが、これも先進医療になりますので、検査や入院などは保険適用ですが、粒子線治療自体は実費で、300万円程度の治療費が必要となります。

最近よく耳にする免疫療法や血管内治療などは自由診療になります。この場合は、検査や入院、治療費も含めて全額自己負担となります。



健康保険が使えませんが、自己負担限度額を超えた医療費が払い戻される、高額療養費制度も使えません。ある事例ですが、急性骨髄性白血病に罹り自由診療を受け、治療費が3,450万円かかったケースもあります。

年齢別保険料 表①

	30歳男性	40歳男性
A社	1,750円	2,810円
B社	2,691円	4,002円
C社	5,665円	8,575円

●入院日額 1万円 ●保障期間：終身 ●払込期間：終身



考えたくはないですが、もしご自身やご家族がそのような状態になってしまったとしたら、出来ることなら最良の治療を求められるのではないのでしょうか？

でもそれが、日本では承認されていない薬の使用が必要だとか、保険診療では治療効果が期待できないような症状だとしたらどうしますか？

もしかしたら、経済的な理由から治療の範囲を狭めてしまう結果になるかもしれません。そのようなリスクに備えるのがそもそも保険の役割だと思います。



これからガン保険を検討される方、すでに加入されている方も、もしもの時に最適な治療を目指すために、保障の内容をキチンと理解して自分の考えにピッタリ合った保険を選んでください。

保険クリニック姫路店HP ~「ためになるお話」~より
<http://www.hoken-himeji.com/loantalk/>

保障内容と保険料 表②



表①に示したように、各保険会社によって保険料はさまざまです。

「保険料は安く、保障は充実したもの」を求めするのは当然です。

しかし表②のように保障内容が充実したものはそれだけ保険料も高くなり、保険料を安くおさえるのならば保障は限定されます。

ただし、保険会社によって決められた定額の保障ではなく、「実際にガン治療にかかった費用(実額)を保障する」といった特殊な商品も発売されています。



保険クリニックでは各社のガン保険の特徴などをきちんとご説明いたします。

「いろいろありすぎて判断しきれない」という場合でも、アドバイスさせていただきますのでぜひご連絡ください！



今回の
ニュースレターを
お楽しみに～♪